

1

「モデル動画」及び「動画活用マニュアル」による動画制作業務のサポート
(地域振興部 情報企画課)

- 「インターネット動画」は、低コストで幅広く情報発信可能なツールであるが、本県をはじめ、市町村、観光関係団体、農業協同組合、NPOなど、地域振興に関わる団体では活用例が少なく、ネット動画の制作・活用ノウハウが各団体に蓄積されていない状況であった。
- そこで、地域振興に関わる様々な団体が、ネット動画の制作に取り組みやすくなるよう、「モデル動画」の制作と「マンガでわかる！動画活用マニュアル」の作成を行った。
- モデル動画を視聴したことによって動画制作に関心を持った市町村等から相談が多数寄せられており、マニュアルを活用した効果的なサポートを行っている。また、相談のあった団体のいくつかは、実際に動画制作に着手している。
- さらに、モデル動画のひとつとして制作した「デート de 知多あるき」は、配信開始から8ヶ月間で34万アクセスに達するなど大変な話題となっており、動画で使用したご当地キャラクター「知多娘。」は、地元の観光PRや企業とのコラボレーションに活用されるなど、地域振興の面でも効果を発揮している。

< 参 考 >

「マンガでわかる！動画活用マニュアル」



(内容)

- ・発注のポイント
- ・仕様書の作り方
- ・動画制作の相場と見積もり
- ・著作権について
- ・動画制作の流れ
- ・動画共有サイトへの掲載・管理
- ・制作費を節約するポイント
- ・動画制作事例
- ・著作権関連団体・機関リスト

モデル動画「デート de 知多あるき」

NPO法人エンド・ゴールが著作権を有する知多半島のキャラクター「知多みるく」をはじめとする12人の「知多娘。」がナビゲート役として登場。12本の動画でひとつのストーリー展開となっており、視聴者とキャラクターがデートするという設定で、知多半島10市町の観光スポットや特産品を紹介。



配信開始から8ヶ月間で
34万アクセス

TV番組、新聞などで
多数報道

【外部アドバイザーのコメント】

- 動画による情報発信が急速に普及している中、県では活用を始めたばかりであったが、この「モデル動画」「動画マニュアル」は、今までの役所のイメージを破る、魅力ある取り組みであり、大いに評価する。
- マニュアルの内容も漫画仕立てで分かりやすくできている。モデル動画「デート de 知多あるき」は、地元のNPOなどと連携した取り組みで、県民の反響も大きく、仕掛け・内容ともによく作り込まれており、大変素晴らしい。
- 愛知県の新たな魅力発信ツールとして、さらなる進化を期待したい。
- また、市町村等からの相談内容を蓄積・分析し、マニュアルの改良や的確な助言に生かすことにより、動画の一層の普及につなげて欲しい。

2

統計調査「経済センサス」の啓発物品の作成

(県民生活部 統計課 商業統計グループ)

- 「経済センサス-活動調査」は、統計法に基づく基幹統計調査として、平成24年2月1日を基準日として初めて行われるものであり、効果的な広報を行う必要があった。
- そこで、広報資材として、総務省統計局が考案した経済センサスキャラクター「ビルくんとケイちゃん」を素材に、立体模型（ペーパークラフト）を作成し、正面玄関や、本庁舎開放イベント時に展示した。
- さらに、ペーパークラフトの展開図と、組立方法の説明書を作成し、総務省統計局へ働きかけを行い、同局が運営する自治体の統計担当者向けポータルサイトへ掲載した。
- これにより、他の自治体においても広報資材として活用され、全国的に広まった。

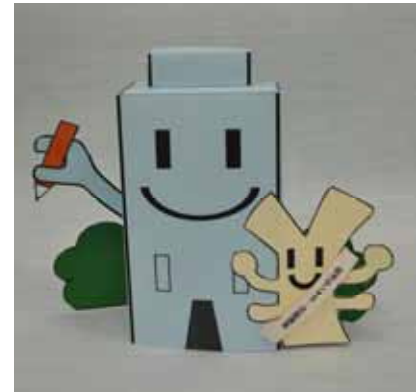
< 参 考 >

総務省統計局考案
経済センサスキャラクター



立体化

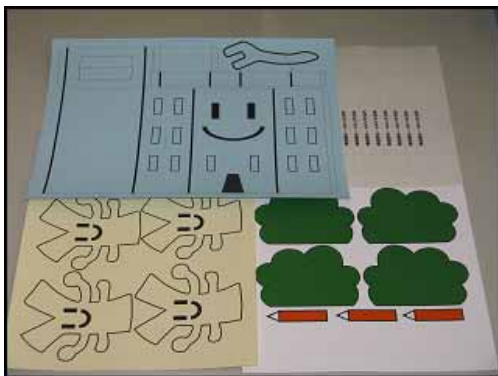
愛知県考案
ペーパークラフト



展
示

愛知県考案
展開図（組立方法説明付き）

本庁舎玄関にパネルと一緒に展示



展開図

- 安価で簡単に作成ができ、量産が可能
- 他自治体では、ダンボールで巨大「ビルくんとケイちゃん」を作成し、広報に活用



【外部アドバイザーのコメント】

- 経済センサスキャラクターの「ビルくんとケイちゃん」を、経費のかからない広報素材として活用できるペーパークラフトにすることを考案し、さらにそれを広く普及できるように展開図を作成したこの取組みは、着眼点・その取組み内容ともにオリジナルなもので、大変優れており、大いに評価する。
- このペーパークラフトは、手作り感も好評で、統計局（総務省）を通じて全国の都道府県に紹介され、全国的にも広がっている点が、大変すばらしい。

3

試薬の単価契約

(農林水産部 農業総合試験場 管理部会計課会計グループ)

- 農業関係の試験研究を行うためには必須な試薬である「オリゴDNA」(少数の塩基が連なったもの)は、長期間の保存ができないため、一度にまとめて購入することができず、1件ごとの購入金額は少額であることから、価格競争が働かずに価格決定されることが多かった。
- また、物品の専門性から仕様の統一が難しく、年間購入金額は多額になるものの、単価契約に踏み切れなかった。
- そこで、専門の職員と協議を重ねた結果、DNAの1塩基当たりの単価は同じである点に着目し、1塩基当たりの単価による一般競争入札(単価契約)に変更することとした。
- これにより、半年間の実績で、1件ごとに購入していた従前の場合と比較し、1塩基当たりの単価が約55%まで下がり、567,000円の経費削減を実現した。

< 参 考 >

オリゴDNA

オリゴとはギリシア語で「少数の」を意味するもので、オリゴDNAとは塩基（A（アデニン）、T（チミン）、G（グアニン）、C（シトシン）の4種類）が少数（試験に使用されるのは20塩基ほど）連なったもの。

試験研究の過程で増幅したいDNAが見つかったとき、その両末端と同じ配列のオリゴDNAを入れて反応させると、その部分のみが増幅される。

増幅させることで、そのDNAが可視化され、優良な品種が持つDNAの配列を解明することができ、農作物の優良品種、家畜の優良血統の選抜・育成が可能となる。



下にたまっている部分にDNAがたくさん入っている（冷凍状態）

一般競争入札による経費削減効果

	1塩基当たり単価 (税込み：円)	予定数量 (塩基)	購入金額 (円)
従来 of 契約	47.25	27,000	1,275,750
今回の一般競争入札	26.25	27,000	708,750

単価が約55%に！

削減効果

567,000

※ さらに、1件ごとの購入手続きに係る事務量も削減

【外部アドバイザーのコメント】

- 試薬の購入に関して、規格の統一化により競争入札を実現し、従来の購入価格を4割以上下げることにつながった取組みであり、大いに評価する。
- 特にこの取組みは、専門分野における改善の余地を、会計担当者が技術職員と協力して掘り起こし、実現までつなげたプロセスが大変素晴らしい。
- こうした取組みの積み重ねが大きな経費節減につながることから、ぜひ他の試薬の購入に広げていくよう頑張ってもらいたい。

4

インデックス写真を使用した写真撮影報告書の作成

(警察本部 刑事部 鑑識課)

- **事件現場等で撮影した写真は、撮影したすべての写真（数十枚に及ぶ場合もある）をL判サイズに印画した上で、写真撮影報告書に1枚ずつ貼付し、同報告書を作成していた。このため、印画紙費用がかさむとともに、報告書作成に多くの時間を要していた。**
- **そこで、関係機関とも協議の上、報告書に貼付する写真をL判サイズからインデックス写真に変更することで、経費の節減と事務の合理化を図ることとした。**
- **平成23年6月から、対象事件を窃盗事件及び検視事件に限定して運用を開始したところ、写真の総印画枚数は、前年の約183万枚から約50万枚減の約133万枚となり、約158万円の印画紙費用の削減を実現した。**
- **今後、対象を全ての事件、事案に拡大し、一層の合理化を進めていく。**

< 参 考 >

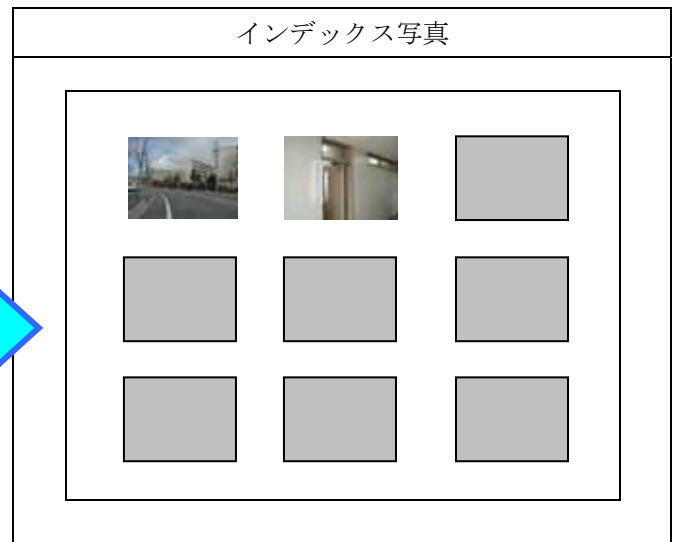
写真撮影報告書

事件現場等で写真を撮影後、「事件名」「撮影日時」「撮影場所」「撮影目的」などとともに、印画した写真を添付して作成する報告書で、警察内部の報告に使用されるもの。書類送検の際の書類に含まれる。

(L判サイズによる報告書)



(インデックス写真による報告書)



印画紙費用の削減額

印画紙費用 (L判サイズ)	総印画枚数 (削減分)	削減額
3. 1 4円/枚	5 0 4, 0 0 0枚	1, 5 8 2, 5 6 0円

【外部アドバイザーのコメント】

- 事件事故の報告書に証拠資料として貼付している現場写真を、L判写真からインデックス写真に切り替えることで、作業の効率化と大幅なコスト削減を実現したもので、評価する。
- この取組みの対象事件を拡大することで、警察全体における合理化効果は、今後さらに大きくなることが期待できることから、一層の普及を期待したい。

5

事務室の配席の工夫

(総務部人事担当局 人事課 人事第一・第二グループ)

- 事務室の配席は、多くの職場では**班長以下を職級順に配置**している。当課でも同様の配席としてきたが、これにより**密接に関わりのある事務を担当する「主査」と「担当(主任又は主事)」の席が離れてしまうことがあった。**
- そのため、主査が担当職員の業務の状況を十分把握できず、的確に指導や助言をしにくいケースや、担当職員が主査への相談をしにくいケースが生じていた。
- そこで、事務室の配席を、**密接に関わりのある事務を担当する「主査」と「担当」が隣席となる形に変更**した。また、新任の主査は**班長の隣に配置**することとした。
- 隣席になることで、主査は担当職員の業務の状況を、また、班長は新任主査の業務の状況を十分把握できるようになり、**仕事上の相談や共同作業を円滑に**できるようになった。その結果、**職場内の一体感が醸成され、情報共有の促進**にもつながった。

< 参 考 >

これまでの配席（職級順）

課長補佐 (班長)	主査
主査 【業務B】	主査 【業務A】
主査 (新任)	主任 【業務B】
主事	主事 【業務A】

職級順であるため、密接に関わりのある事務を担当する「主査」と「担当」の席が離れてしまうことがある。



- 主査は担当職員の業務を十分把握できず、的確な指導や助言をしにくい。
- 担当職員は主査から指示を受けにくい。

新任主査が班長から離れている場合も同様

事務分担での関わりを考慮した配席

課長補佐 (班長)	主査 【業務A】
主査 (新任)	主事 【業務A】
主査	主査 【業務B】
主事	主任 【業務B】

密接に関わりのある事務を担当する「主査」と「担当」を隣席に配置する。



- 主査は担当職員の業務の状況を十分把握できるようになる。



職場内の一体感が醸成され、情報共有の促進につながる

【外部アドバイザーのコメント】

- 執務室での座席を、役職順に拘るのではなく、業務の関連や組織機能に着目し、チーム単位でまとめるのは、多くの企業でも実践されている合理的な取組みであり、評価する。
- この取組みは、効率的な業務遂行に不可欠なものであり、県全体の仕組みとして実践されるとより良いので、一層の研究を期待したい。

6

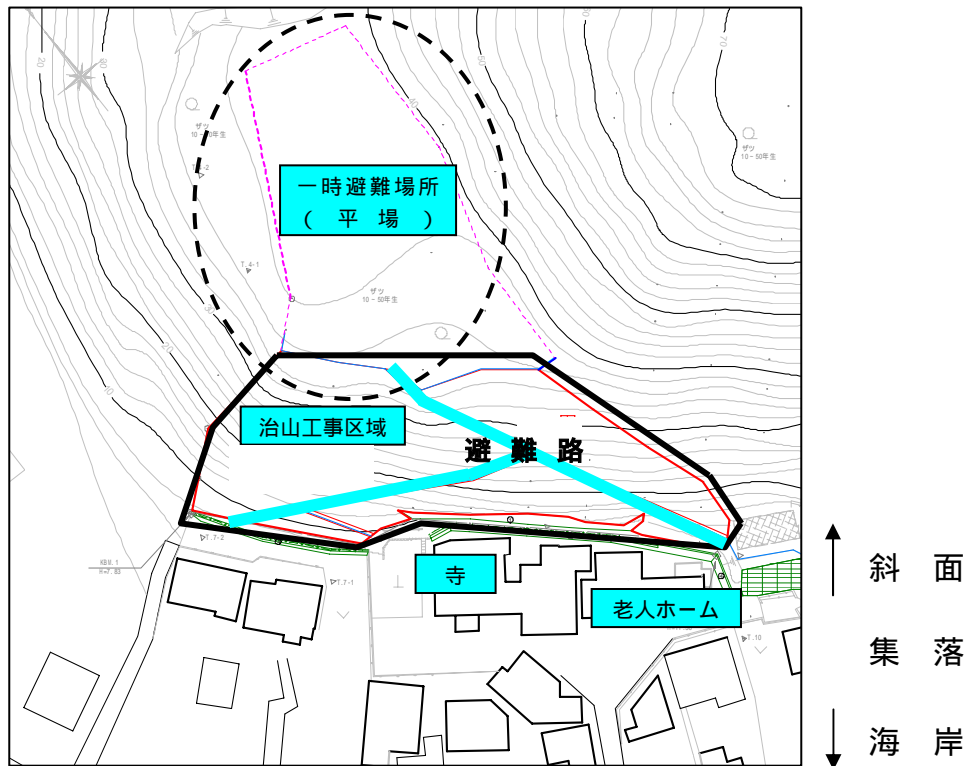
治山工事を活用した津波避難路の設置について

(農林水産部 知多農林水産事務所 林務課林務グループ)

- 当事務所では、平成24年度以降、南知多町大字山海地内において治山工事を予定しており、工事箇所の斜面は、海岸線から概ね100mのところにある。海岸線と斜面の狭い間に、人家12戸やお寺、老人ホーム（収容人数20名）があり、大地震発生時には津波による甚大な被害が予測される。
- 工事箇所の山側付近の森林を調査したところ、隣接する標高35m付近に約1,800㎡の平地があり、津波発生時の一時避難場所として利用できることがわかった。
- そこで、工事の際に設ける管理道路を、一時避難場所までの避難路として活用する。
- この取組を地元市町村とも連携して進めることにより、災害時要援護者である高齢者等を含めた地域住民の安全・安心の確保が図られる。

< 参 考 >

治山工事箇所（平成24年度以降に事業予定）



避難路のイメージ



工事の際に設ける管理道路に、安全柵等を設置し、避難路として活用。

【外部アドバイザーのコメント】

- 治山工事により設置する施設を利用し、防災対策になる避難路を設置するアイデアは、治山工事の枠を越えて、防災対策へ広がりを持ったもので、住民ニーズを踏まえ、地元市町村と連携した取組みの提案と推察し、大いに評価する。
- 地元や関連部署とのつなぎをうまく行い、付加価値を高める計画づくりを進めて、ぜひ組織として実現に向けて頑張ってもらいたい。